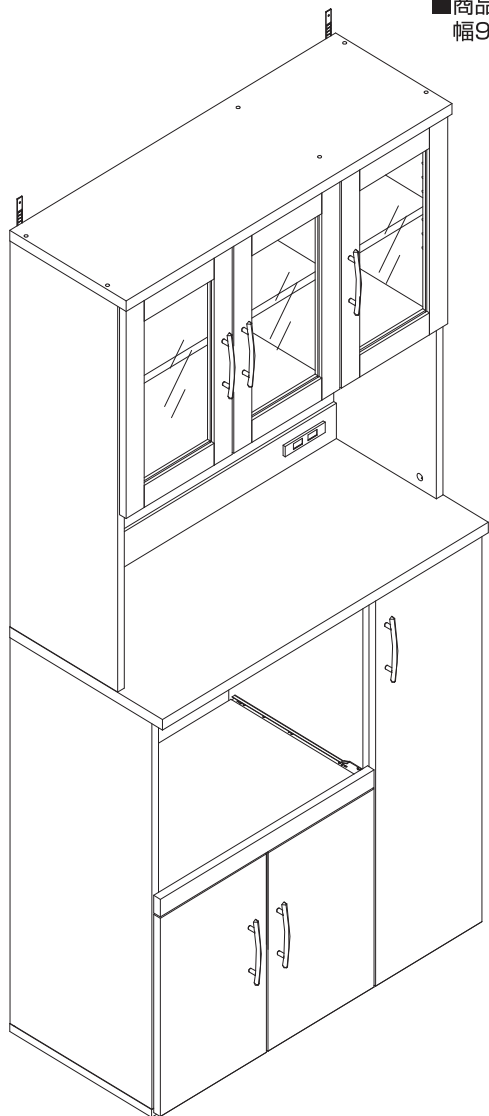


PST-1890 組立説明書

- 構造部分：パーティクルボード、MDF
- 表面加工：プリント式化粧合板
- 商品サイズ  
幅90x奥行41x高さ180(cm)



**組み立て前に必ずよくお読みください。**

● **ご準備いただくもの**

- ・ はさみ、またはカッターナイフ、プラスドライバー
- ・ 少し大きめのダンボール、またはやわらかい布 (タオルや布団等)

● **組み立て時の注意**

- ・ 必ず 説明書の順番通りに組み立ててください。 順番を変えると、商品が破損したり使用できない場合があります。
- ・ 安全に組み立てるために 2人以上で作業を行ってください。
- ・ 組み立ては平らな場所で、床などに傷がつかないように、ダンボールや柔らかい布等を敷いて行ってください。
- ・ 部品は正確に取り付けてください。



**使用上の注意**

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

**用途：室内用家具**

用途以外の目的には使用しないでください。

- 熱いものを長時間のせないでください。
- めれた場合はすぐ拭き取ってください。
- 火気や暖房器具のそばでは使用しないでください。火災や、やけど、製品の変形のおそれがあります。
- 必ず水平で安定した場所に設置してください。
- 乗る、ゆするなどの無理な力をかけないでください。
- 移動する際は、のせてあるものをすべて下ろしてください。
- フローリングの床など傷つきやすい床面での使用は、床のキズ、へこみなどの原因となりますので十分ご注意ください。

- 使用しているうちにネジにゆるみが発生し、ぐらつくことがありますので定期的に締め直してください。
- 柔らかい素材のため、硬いものや尖ったものが当たるとキズ・へこみの原因となりますのでご注意ください。
- 腐食やカビ・変形・変色の原因となりますので、以下のことにご注意ください。
  - ・ 直射日光の当たる場所や、高温多湿になる場所に長時間置かないでください。
  - ・ 水分、油、洗剤などが付着した場合は、素早く拭き取ってください。
  - ・ シール、テープなどを貼らないでください。

- 接着剤に含まれる有機溶剤 (ホルムアルデヒド) が残っていることがあります。においが気になる時は、換気をよくしてご使用ください。

- 天災などの不可抗力や、不当な修理・改造による事故・破損に対する補償は致しかねます。
- 製品および梱包材を廃棄される際は、お住まいの自治体の取り決めに基づいた処理をお願いします。

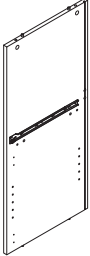
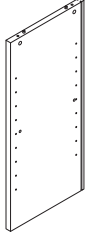
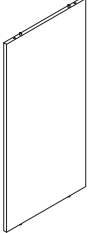
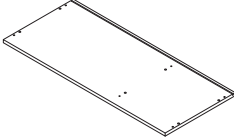
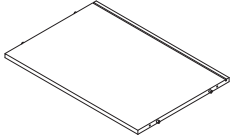
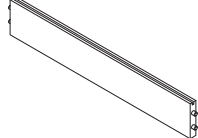
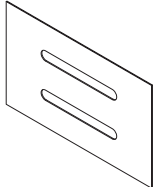

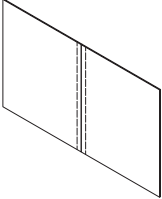
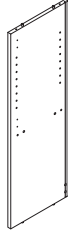
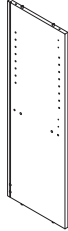
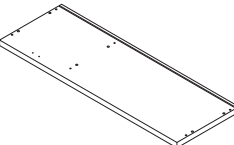
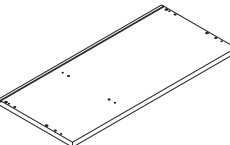
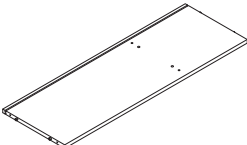
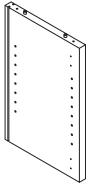
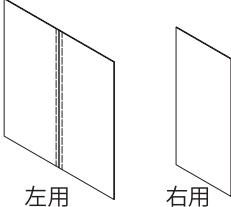
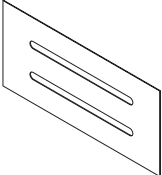
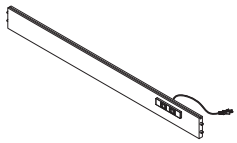
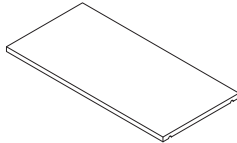
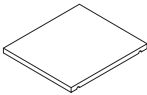
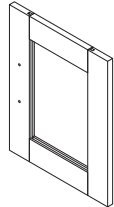
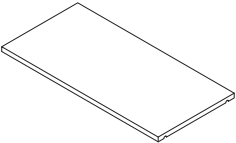
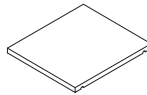
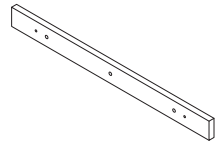
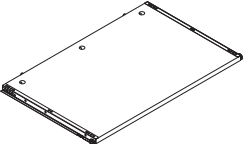
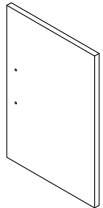

**点検・お手入れについて**

- 汚れをおとす際は、薄めた中性洗剤で拭いた後、固く絞った布等で完全に洗剤分を拭きとってください。水分等が残りますと後が残るおそれがあります。アルコール、ベンジン、漂白剤、みがき粉等は使用しないでください。
- ネジ類は、その取付けが確実かどうか、定期的に点検してください。

この度は当商品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
ご使用前に、この取扱・組立説明書を最後までお読みのうえ、正しい使い方で末永くご愛用ください。  
なお、この説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保管いただきますようお願い申し上げます。

部品一覧

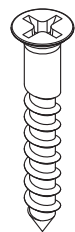
● 数量を確認しましょう。

①下段用左側板  ×1	②下段用仕切り板  ×1	③下段用右側板 x  ×1	④下段用地板  ×1	⑤下段用固定板  ×1	⑥下段用補強板  ×1	⑦下段用左上背板  ×1	⑧下段用右背板  ×1
⑨下段用左下背板  ×2	⑩上段用左側板  ×1	⑪上段用右側板  ×1	⑫上段用天板  ×1	⑬上段用地板  ×1	⑭上段用固定板  ×1	⑮上段用仕切り板  ×1	⑯上段用背板  左用 右用 ×各1
⑰上段用下背板  ×1	⑱上段用補強板  ×1	⑲上段用可動棚 (大)  ×1	⑳上段用可動棚 (小)  ×1	㉑ガラス扉  ×3	㉒下段用可動棚 (大)  ×1	㉓下段用可動棚 (小)  ×1	㉔前飾り板  ×1
㉕スライドトレイ  ×1	㉖扉板 (小)  ×2	㉗扉板 (大)  ×1					

部品一覧

● 数量を確認しましょう。

A. ネジ大 ×26 (予備×2)

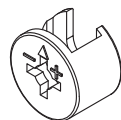


5.5×38mm

B. カムロックセット ×9

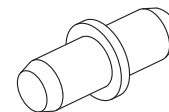


カムロックボルト



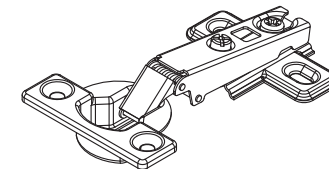
カムロック受け

C. 棚ダボ ×16 (予備×2)



5×16mm

D. ドアヒンジ ×12  
専用ネジ ×48 (予備×2)



3.5×14mm

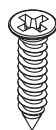
E. 取っ手 ×6  
専用ネジ ×12



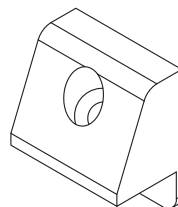
4M 22mm



F. 背板ストッパー ×26  
専用ネジ ×26



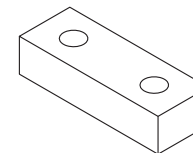
3×14mm



G. 扉受け ×1  
専用ネジ ×2



3.5×14mm



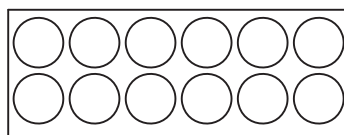
H. 転倒防止用プレート ×2  
専用ネジ ×8



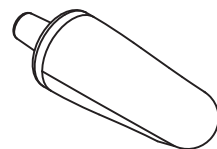
3×14mm



I. ネジ隠しシール ×12



J. ボンド ×1



**ステップ1** スライドトレイ、ガラス扉を組み立てます。

使用金具

- B** ×3  
カムロック  
セット
- J** ×1  
ボンド
- D** ×6  
ドアヒンジ

⑳前飾り板の裏面に、B:カムロック(ボルト)を取り付け、J:ボンドとB:カムロック(受け)を使って㉔スライドトレイに組み合わせます。

㉑ガラス扉にE:取っ手を専用ネジを使って取り付け、裏面にD:ドアヒンジを専用ネジを使って取り付けます。㉒は3枚組立てます。

**ステップ2** 扉小、扉大を組み立てます。

使用金具

- D** ×6  
ドアヒンジ
- E** ×3  
取っ手

㉗扉板(大)と㉘扉板(小)2枚に、E:取っ手を専用ネジを使って取り付け、各扉板の裏面にD:ドアヒンジを取り付けます。㉙扉板(小)2枚は2枚組立てます。

**ステップ3** 下段部分を組み立てます。

使用金具

- A** ×4  
ネジ大
- J** ×1  
ボンド

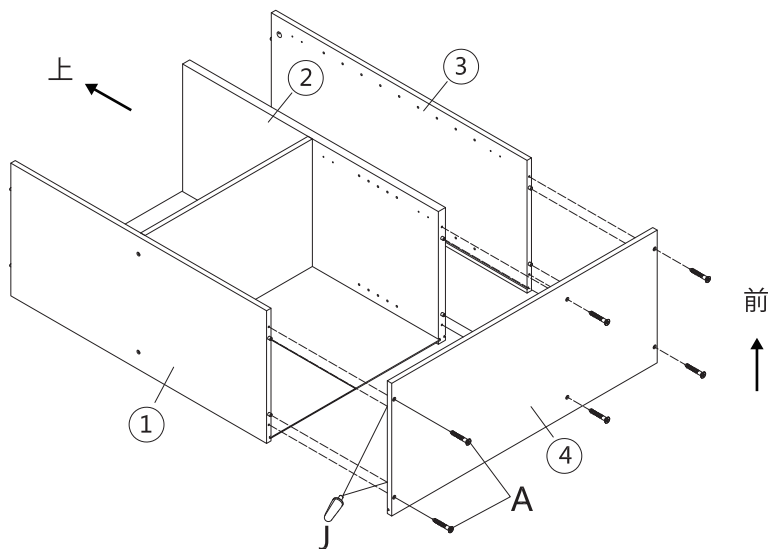
㉕下段用固定板と㉖下段用補強板を、A:ネジ大とJ:ボンドを使って、㉑下段用左側板と㉒下段用仕切り板に取り付けます。

**ステップ4** ステップ3で組立てたパーツに、図のように㉗下段用左上背板と㉙下段用左下背板を差し込みます。

**ステップ5**

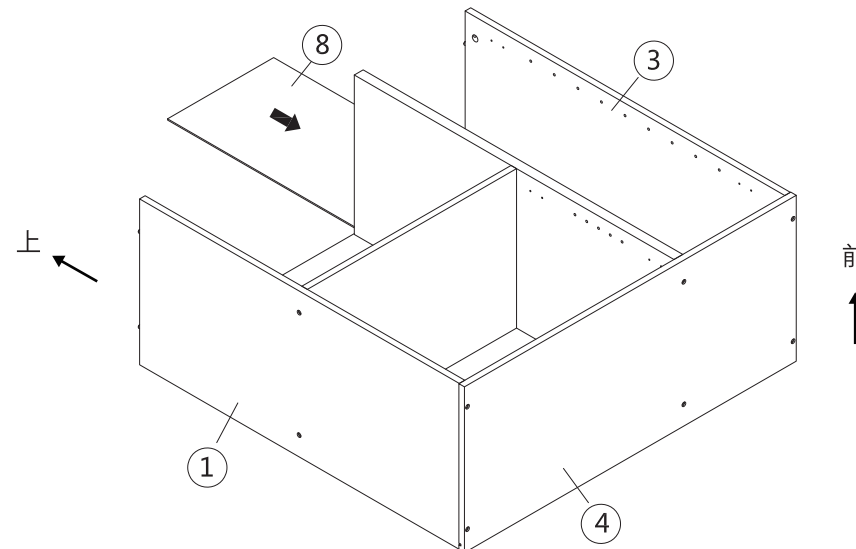
ステップ4で組立てたパーツと、③下段用右側板に図のように④下段用地板をA:ネジ大とJ:ボンドを使って取付けます。

使用金具



**ステップ6**

ステップ5で組立てたパーツに、⑧下段用右背板を図のように差し込みます。下段部分はこの段階で一旦置いておきます。

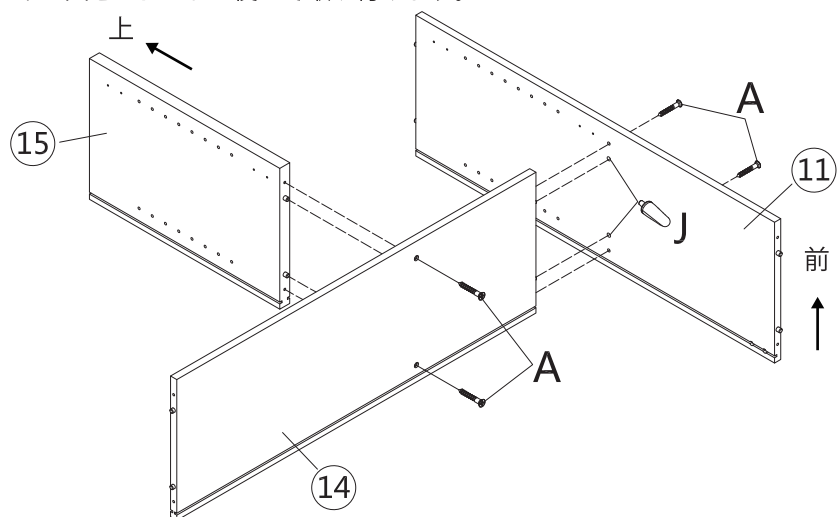
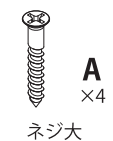


**ステップ7**

**上段部分を組み立てます。**

⑭上段用固定板に、⑪上段用右側板と⑮上段用仕切り板を図のようにA:ネジ大とJ:ボンドを使って取り付けます。

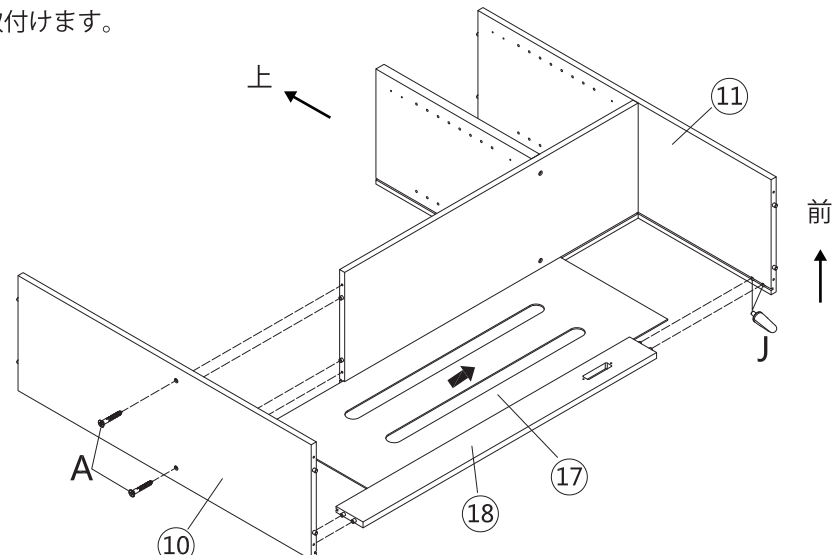
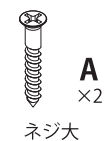
使用金具



**ステップ8**

ステップ7で組立てたパーツに、⑱上段用補強板をJ:ボンドを使って取り付け、⑰上段用下背板を図のように差し込み、⑩上段用左側板をA:ネジ大を使って取付けます。

使用金具



**ステップ9** ステップ8で作成したパーツに、⑬上段用背板を図のように差し込み、⑫上段用天板と⑬上段用地板を図のようにA.ネジ大とJ.ボンドを使って取付けます。

**使用金具**

**A** ×10  
ネジ大

**J** ×1  
ボンド

上段部分はこの段階で一旦置いておきます。

**ステップ10** 上段部分と下段部分を組み合わせます。

ステップ6とステップ9で組立てた上段部分と下段部分を、図のようにB:カムロック(ボルト)を上段部分に取り付け、B:カムロック(受け)とJ.ボンドで下段部分に取り付けて組み合わせ、B:カムロック(受け)を締めて固定します。

**使用金具**

**B** ×6  
カムロックセット

**G** ×1  
扉受け

**J** ×1  
ボンド

その後、上段部分にG.扉受けを取り付けます。

**ステップ11** 本体をゆっくり起こします。

本体を起し、図の任意の場所にC.棚ダボを取り付けて、図のように、⑲上段用可動棚(大)、⑳上段用可動棚(小)、㉑下段用可動棚(大)、㉒下段用可動棚(小)、ステップ1で組立てたスライドトレイを設置します。

**使用金具**

**C** ×16  
棚ダボ

※本体を起す際は、必ず大人2名以上で行ってください。

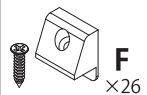
**ステップ12** ステップ1、ステップ2で組立てたガラス扉、扉小、扉大を図のように、D.ドアヒンジ専用ネジを使って、取付けます。取り付けの際、ドアヒンジの調整をして、扉同士が当たらないようにしてください。

**使用金具**

**D** ×24  
ドアヒンジ専用ネジ

**ステップ 13**

使用金具

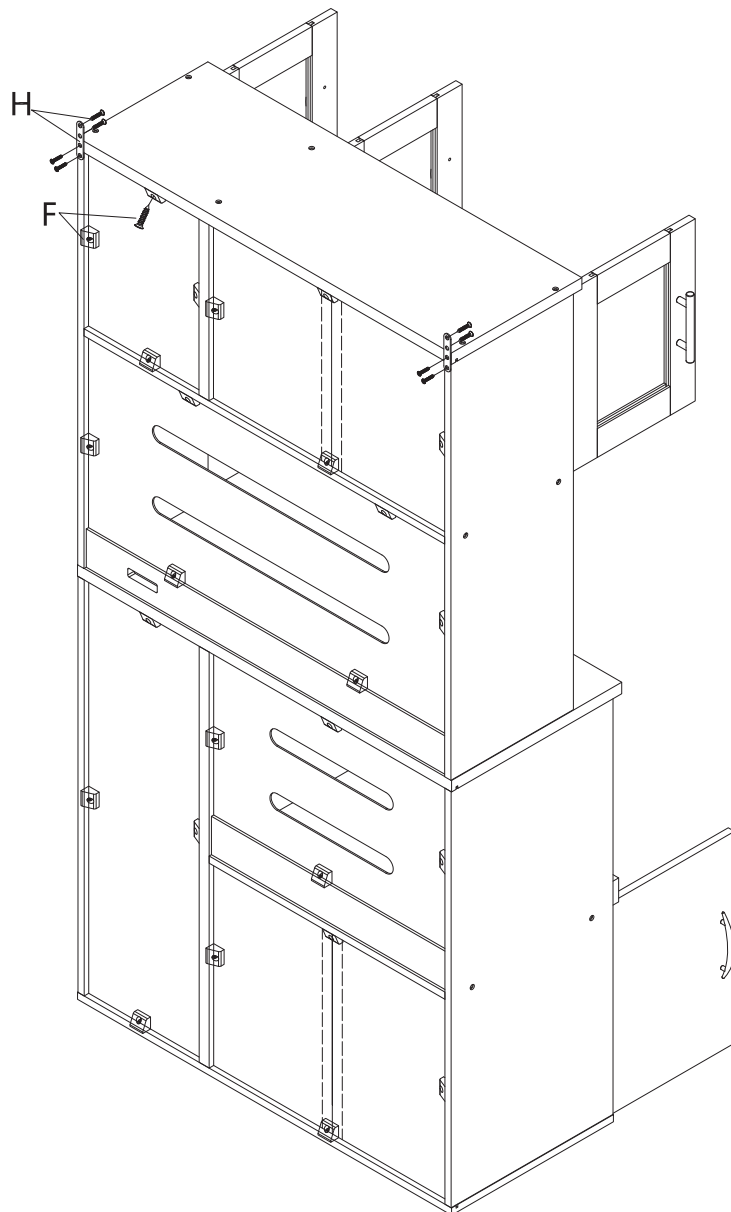


背板  
ストッパー



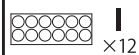
転倒防止  
プレート

本体の裏面に、図の箇所にF.背板ストッパーと専用ネジを取り付けます。  
その後、H.転倒防止用プレートを取り付けて、壁などに固定してください。



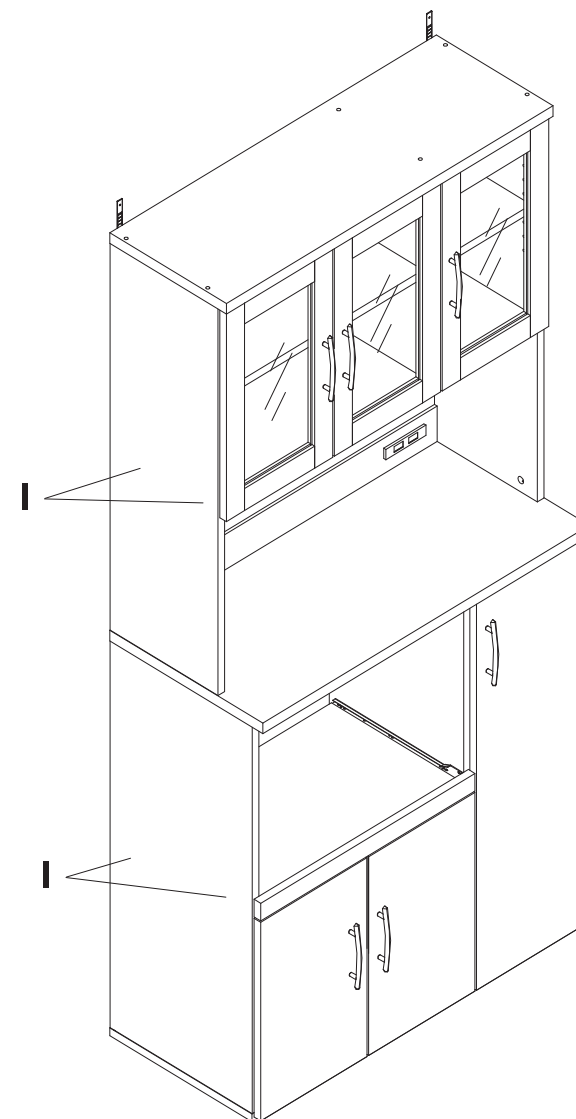
**ステップ 14**

使用金具



ネジ隠し  
シール

最後に、側面板のネジ穴に、I.ネジ隠しシールを貼って完成です。



組立お疲れ様でした

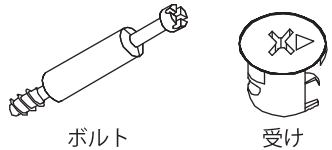
※必ず、組立前にご確認ください。

カムロックの取付について、簡単な手順をご紹介します。

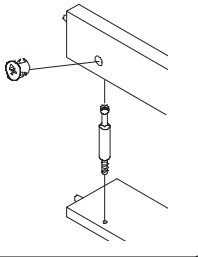
- カムロックを使用する商品は、個体差により組説の手順どおりだと取り付けにくい場合があります。作業前に下記の注意事項をご確認ください。
- 個体により、受けを先に取り付けた状態だと受けが取付穴に沈みすぎ、ボルトの挿入が難しい場合があります。このような場合は、受けを取付穴最奥から少し浮かせることで、ボルトの挿入がしやすくなります。

## ネジタイプのカムロックについて

「ボルト」の片側がネジになっているカムロックの取付手順を説明します。



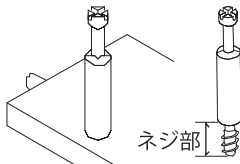
一般的な説明図



### 1. ボルトを板に取り付けます

#### ネジの締め具合に注意

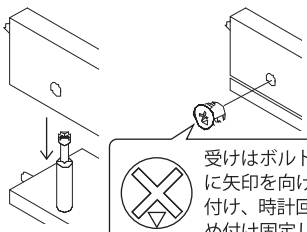
ネジ部が丁度隠れる程度が適切です。受けの取付が難しい場合は見直してください。



※締めすぎたり、緩すぎると次の工程が困難になる場合があります。

### 2. 受けを取り付け、固定します

接続する板を、ボルトを取り付けた板と組み合わせ、次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付け、固定します。



受けはボルトの向きに矢印を向けて取り付け、時計回りに締め付け固定します。

## カムロックの基本

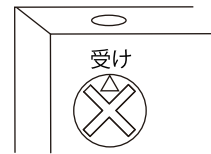
### カムロックのパーツ

カムロックには「ボルト」と「受け」の2種類のパーツが存在します。



### 受けの取付向き

カムロック受けは、三角の目印が穴の開いている向き（ボルト側）に来るように取り付けます。

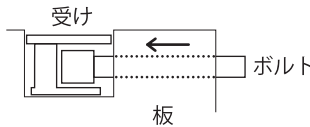


#### ご注意

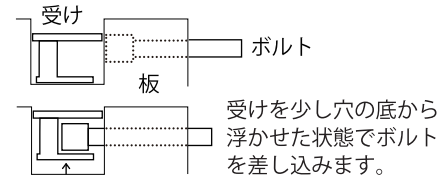
※受けの矢印向きが違う場合、ボルトの挿入ができません。  
※受けには矢印のほか、アルファベットなどが刻印されているものがあります。

### 受けにボルトを差し込む

受けにボルトを差し込みます。

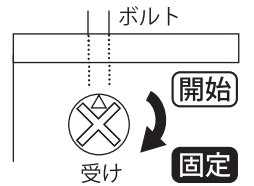


#### 【受けが取付穴に沈みすぎる場合】



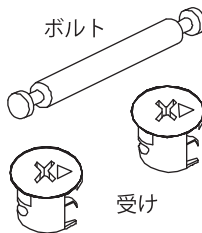
### 締め方

カムロック受けを時計回りに締め付け、しっかり固定します。

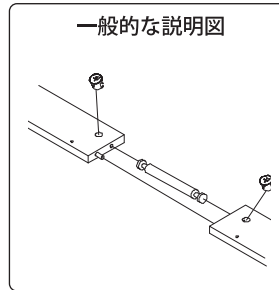


## 双頭カムロックについて

「受け」を2つ使用するカムロックの取付手順を説明します。

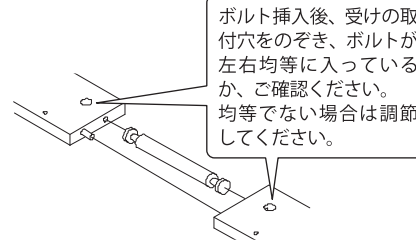


一般的な説明図



### 1. ボルトを板に取り付けます

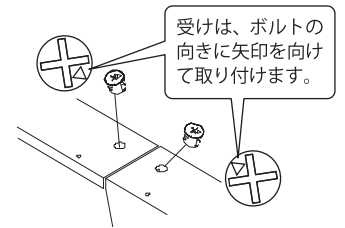
接続する2枚の板に図のようにボルトを差し込みます。



ボルト挿入後、受けの取付穴をのぞき、ボルトが左右均等に入っているか、ご確認ください。均等でない場合は調節してください。

### 2. 受けを取り付けます

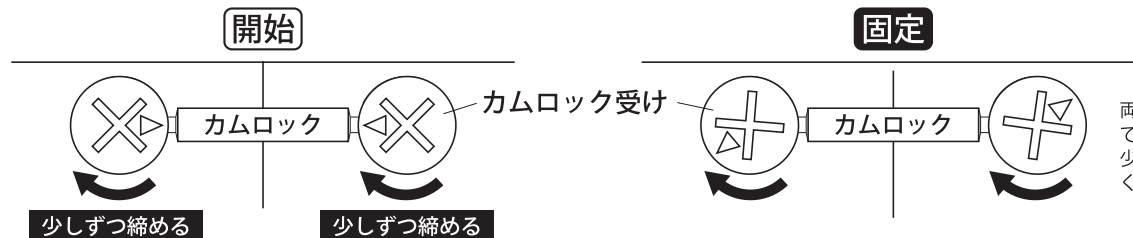
次にカムロック受けを矢印の向きに注意して取り付けます。



受けは、ボルトの向きに矢印を向けて取り付けます。

### 3. カムロックを固定します

片方を先に締めきってしまうと、反対側のボルトの頭がカムロック受けに、上手く噛み合わない場合があります。必ず両側が噛み合っていることを確認しながら、左右交互に締めてください。



両側がしっかりと噛み合っていることを確認しながら、少しずつ左右交互に締めてください。



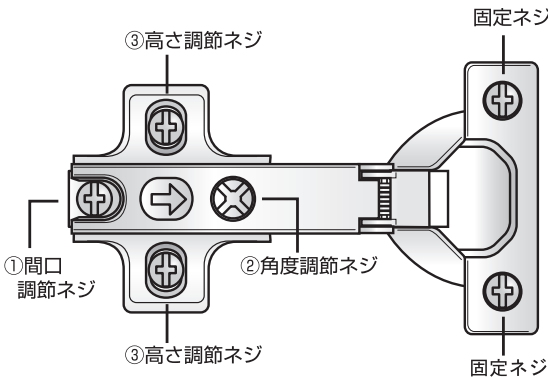
# ◆ ドアヒンジの調整方法

本体と扉をヒンジで取り付け際に、扉が傾いたりずれていたりする場合は、ヒンジについている各種ネジを調整することで、扉を美しく取り付けることができます。調整するのが「間口調節ネジ」「角度調節ネジ」「高さ調節ネジ」の3箇所です。この3箇所を調整し、キレイに扉を取り付けられるコツをご紹介します。

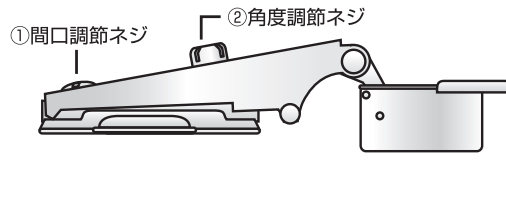
## ■ ヒンジの詳細

ヒンジの各部位を紹介いたします。主に調整するのが

①「間口調節ネジ」②「角度調節ネジ」③「高さ調節ネジ」の3箇所です。



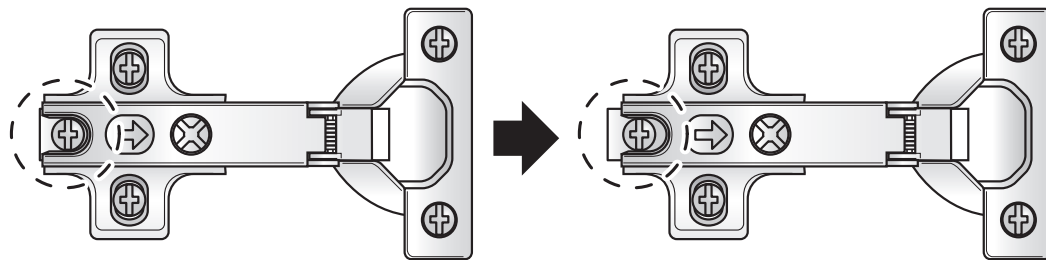
ヒンジ：上面図



ヒンジ：側面図

### ① 間口調節ネジ…扉同士の間隔を調整します。

まずは「間口調節ネジ」からご説明いたします。「間口調節ネジ」は扉と本体の間隔を調整する部分です。ヒンジを扉に取り付ける前に、事前に「間口調節ネジ」をゆるめて、スライド部分を約3mmほど出してネジを締めます。このスライド部分の出ている幅が広ければ広いほど扉と本体の間隔が広がり、逆に扉と扉の間隔が狭くなってしまいます。



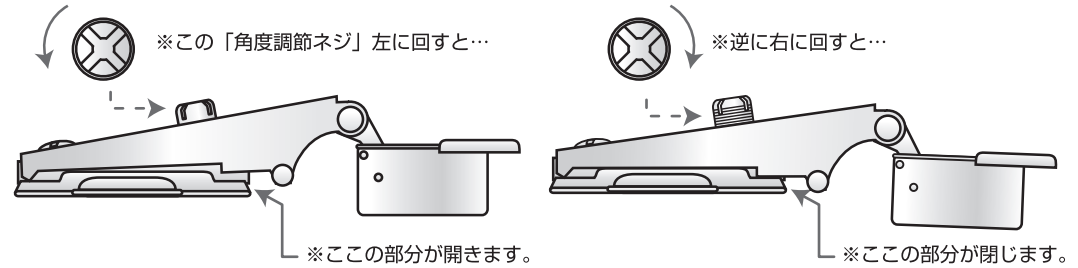
出す前

出した後

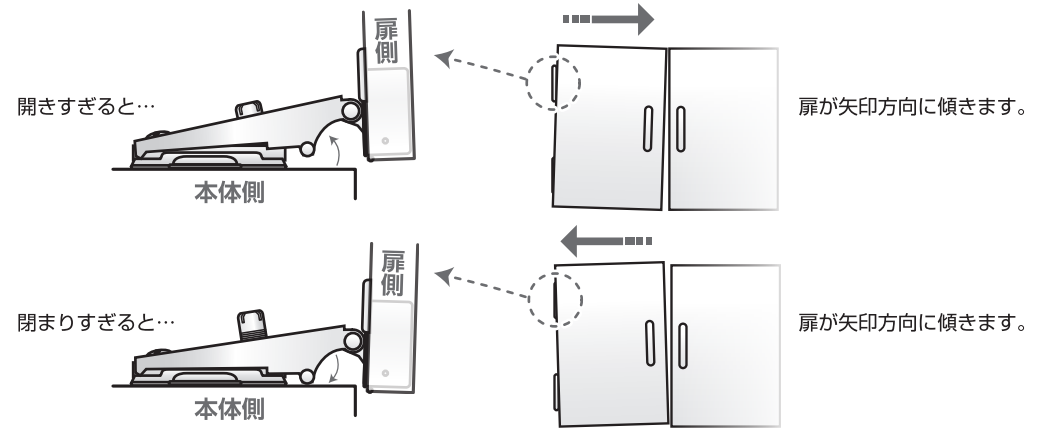
扉を本体に取り付けた後、扉を開閉してみて扉と本体の間隔、扉同士の間隔をご確認ください。先ほど出した約3mmが丁度いい間隔の目安になりますが、もし開閉の際、扉の端が本体に当たったり、扉同士がぶつかったりするようでしたら、再度「間口調節ネジ」をゆるめて微調整してください。

### ② 角度調節ネジ…扉の角度を調節します。

続けて「角度調節ネジ」をご説明いたします。「角度調節ネジ」は扉の角度を調節する部分です。



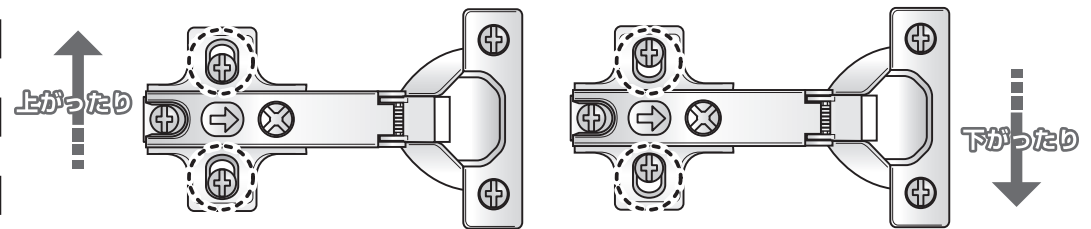
つまり、この角度調整ネジを回すことで扉の角度を調整できるわけですが…



ヒンジは通常上下2つで1セットなので、「角度調節ネジ」を回すときは、上下のヒンジを合わせる必要があります。片方だけ角度が違えば扉の傾きの原因になりますので、扉の傾きが気になる時は、ネジの回転数(1回転、2回転…)を上下であわせて、ヒンジの角度を同じにしてあげる事で、扉をまっすぐ取り付けることができます。

### ③ 高さ調節ネジ…扉の高さを調節します。

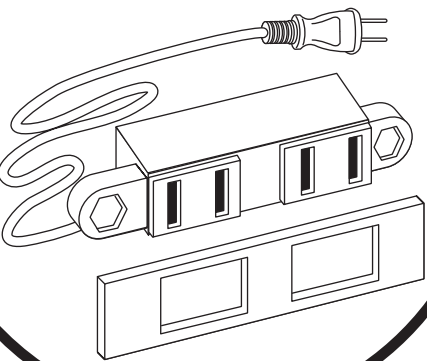
最後に「高さ調節ネジ」をご説明いたします。「高さ調節ネジ」は扉自体の上下の位置を調節する部分です。



左右の扉の高さが違う場合は、この「高さ調節ネジ」を少し緩めて扉の上下の位置を調整し、丁度いい高さのところまで改めてネジを締め付けて下さい。

**以上のことをふまえて調整することで、キレイに扉を取り付けることができます！  
少しお手間はかかりますが、ぜひこれらを参考にチャレンジしてみてください！**

# ■ 電源プラグ・コンセント使用上の注意



## ①ワット・アンペア・ボルト

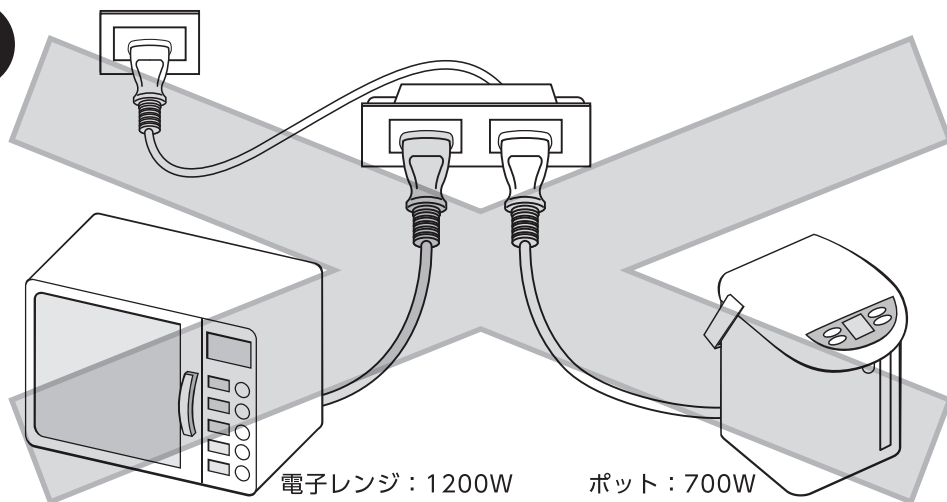
電気製品が消費するエネルギーを消費電力【ワット：W】と言います。消費電力の大きさは、電流【アンペア：A】と電圧【ボルト：V】の高低で決まっており、次の関係式で計算できます。

消費電力	=	電流	x	電圧
<b>W【ワット】</b>	<b>=</b>	<b>A【アンペア】</b>	<b>x</b>	<b>V【ボルト】</b>

## ②消費電力の許容範囲

お買い求め頂いた本商品は、2口コンセント仕様となっており、2つのプラグの合計が1500Wまで使用可能です。なお、次の例のように、1500Wを超える使用はコンセント内部の加熱の原因になり、危険ですので避けて下さい。

例



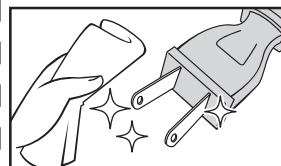
電子レンジ：1200W

ポット：700W

$$1200W + 700W = 1900W$$

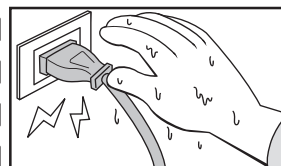
## ③電源プラグ・コンセントの正しい扱い方

❶長時間差し込んだままのプラグとコンセントの間のホコリを取り除きましょう。



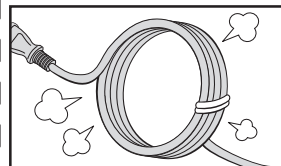
⇒電源プラグは差し込みっぱなしにしておくと、ホコリが溜まります。そこに湿気が加わると【トラッキング現象】を起こし、発火につながる可能性があり危険です。定期的に電源プラグを抜いて、乾いた布でホコリを取り除くようにして下さい。

❷濡れた手での使用は避けましょう。



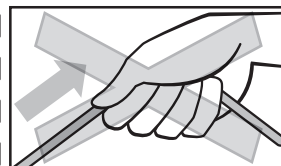
⇒濡れた手で電源プラグや電気機器を触ると感電の原因になり危険です。

❸電源コードを束ねたままの使用は避けましょう。



⇒電源コードは途中で巻かずにできるだけ伸ばした状態で使用しましょう。巻いたまま使用すると、コードの熱が放熱しにくくなり、巻いた部分が加熱して危険です。

❹コードだけを引っ張らないようにしましょう。



⇒プラグを抜く時は必ずプラグ本体を持ち、コードだけを引っ張らないように注意して下さい。無理にコードだけを引っ張ると断線の恐れがあり危険です。